

平成28年度

事業報告

平成28年4月 1日から
平成29年3月31日まで

一般財団法人 資産評価システム研究センター

平成28年度事業報告

一般財団法人資産評価システム研究センターは、地方公共団体からの会費収入のほか、一般財団法人日本宝くじ協会及び一般財団法人全国市町村振興協会の助成金を受けて、固定資産税制度及び資産評価に関する調査研究、地方公共団体における固定資産評価技術の向上のための研修事業並びに固定資産税及び評価関係情報の収集提供等の諸事業を推進してきた。

各事業については、時代の要請に対応したものとなるよう留意するとともに、その内容の充実を図った。

各事業の実施概要を以下のとおり報告する。

1 調査研究事業

事業名	事業実施概要
①土地に関する調査研究	画地規模に応じて不整形地補正率表を修正する場合の検討手法に関する調査研究を実施。 「土地に関する調査研究委員会」 (委員長：井出多加子 成蹊大学経済学部長)
②家屋に関する調査研究	中大規模木造家屋の評価に関する調査研究を実施。 「家屋に関する調査研究委員会」 (委員長：吉田倬郎 工学院大学名誉教授)
③地方税における資産課税のあり方に関する調査研究	地方における今後の財政見直しから見る固定資産税の重要性及び平成30年度評価替えに向けた負担調整措置等のあり方について調査研究を実施。 「地方税における資産課税のあり方に関する調査研究委員会」 (委員長：石島弘 岡山商科大学大学院法学研究科教授)
④償却資産に関する調査研究	申告書様式の見直し及び償却資産の申告時期見直し(法人税制度との整合性)等について調査研究を実施。 「償却資産に関する調査研究委員会」 (委員長：吉野頼利 東京都主税局資産税部資産評価専門課長)
⑤固定資産税制度に関する調査研究	タワーマンションの課税のあり方及び固定資産税(家屋)に係る新たな評価方法について調査研究を実施。 「固定資産税制度に関する調査研究委員会」 (委員長：堀場勇夫 青山学院大学名誉教授)
⑥固定資産評価研究大会	第20回固定資産評価研究大会を次のとおり開催。 開催日：平成28年10月28日(金) 場 所：都市センターホテル(東京都千代田区平河町2-4-1) 参加者：地方公共団体職員、学識経験者、不動産鑑定士等 983名参加 ア. 講演 「固定資産税と租税法規の解釈：納税義務者を巡る最高裁判決を題材に」 一橋大学大学院法学研究科准教授 神山弘行 氏 イ. パネルディスカッション 「家屋評価の課題と展望」 ウ. 分科会発表 地方公共団体から5題、民間実務家から3題 計8題の発表 エ. 固定資産税業務のICT・GISの活用に関する展示 情報処理、情報通信、地理情報システム業者等14社が出展

備考 ①～③は、一般財団法人全国市町村振興協会助成事業である。

2 研修事業

事業名	事業実施概要				
	内容	開催地及び回数	講師	受講者	
① 一般研修会	ア 固定資産税事務地方研修会	・固定資産税制度の概要等 ・土地評価制度 ・家屋評価制度 ・鑑定評価制度	13回、各1日 北海道 岩手県 山形県 東京都 石川県 三重県 兵庫県 奈良県 広島県 徳島県 福岡県 宮崎県 沖縄県	総務省職員 不動産鑑定士	評価担当職員等 1,263名
	イ 固定資産評価審査委員会運営研修会	・固定資産税制度の現状と課題 ・審査委員会の運営 ・固定資産税関係判例解説	6回、各1日 福島県 東京都 福井県 京都府 高知県 熊本県	総務省職員 審査委員会事務局職員 当センター職員	審査委員会委員、 同事務局職員等 1,313名
	ウ 償却資産研修会	・償却資産制度の現状と課題 ・年間事務の運営 ・実地調査事務	9回、各1日 北海道 宮城県 東京都 愛知県 和歌山県 山口県 香川県 大分県 沖縄県	総務省職員 地方公共団体職員 当センター職員等	償却資産担当職員等 768名
② 実務研修会	ア 家屋評価実務研修会	・家屋評価の基礎及び実務 ・木造家屋の資材 ・木造家屋の評価 ・実地研修、評点付設 ・グループ討論、講評等	3回、各4日間 東京都 1回 兵庫県 1回 福岡県 1回	総務省職員 学識経験者 地方公共団体職員 当センター職員等	評価担当職員 210名
	イ) 木造家屋 (2日間)	・家屋評価の基礎及び実務 ・木造家屋の資材 ・木造家屋の評価 ・グループ討論、講評等	3回、各2日間 東京都 1回 北海道 1回 宮城県 1回	地方公共団体職員 当センター職員	評価担当職員 153名
	ウ) 非木造家屋 (4日間)	・非木造家屋の評価 ・非木造家屋の建築設備 ・非木造家屋の評点付設 ・グループ討論、講評等	1回、4日間 東京都	民間会社設備部門専門家 地方公共団体職員 当センター職員	評価担当職員 88名
	エ) 非木造家屋 (2日間)	・非木造家屋の評価 ・非木造家屋の評点付設 ・講評等	2回、各2日間 東京都 1回 兵庫県 1回	地方公共団体職員 当センター職員	評価担当職員 102名

イ 土地 評価実務 研修会	ア)土地評価 (4日間)	・市街地宅地評価法 ・不動産鑑定評価 ・実地研修、図面作成 ・グループ討論、講評 等	3回、各4日間 東京都 1回 大阪府 1回 福岡県 1回	不動産鑑定士 民間会社評価 システム開発 運用部門専門 家 地方公共団体 職員 当センター職 員	評価担当 職員 195名
	イ)土地評価 (2日間)	・市街地宅地評価法 ・不動産鑑定評価 ・グループ討論、講評 等	3回、各2日間 東京都 1回 北海道 1回 宮城県 1回	不動産鑑定士 地方公共団体 職員 当センター職 員	評価担当 職員 98名
	ウ 償却資産実務研修会	・帳簿の見方 ・納税義務者の把握 ・実地調査事務 ・事例解説 等	2回、各2日間 東京都 1回 大阪府 1回	当センター職 員等	償却資産 担当職員 150名
受 講 者 合 計				4, 3 4 0名	
③ 講師派遣 事業	地方公共団体で組織する機関等20団体へ、延べ26回の研修会に講師を派遣した。				

備考 ①及び②は、一般財団法人全国市町村振興協会助成事業である。

3 情報収集提供事業

事業名	事業実施概要
①「資産評価情報」の発行	固定資産税及び資産評価に関する各種情報、資料等を掲載した「資産評価情報」の作成・配布。 年間6回、各16,150部発行
② 固定資産税関係図書の作成・提供	次の図書の作成・提供。 ア 固定資産税のしおり(平成29年度版) 607,800部 イ 平成28年度固定資産税関係資料集Ⅰ－総括的資料編－ 8,900部 ウ 平成28年度固定資産税関係資料集Ⅱ－不動産鑑定評価編－ 6,500部 エ 平成28年度固定資産税関係資料集Ⅲ－償却資産調査編－ 5,600部 オ 平成28年度固定資産税関係資料集Ⅳ－判例解説編－ 6,400部 カ 固定資産税 土地評価の基礎知識 9,000部 キ DVDよくわかる固定資産税額の求め方－家屋編 実施設計の作成
③固定資産税関係情報の収集・提供等	ア 資産評価関係情報等の収集・提供 固定資産税及び資産評価に関する各種情報の収集及び提供 イ ホームページの運用 固定資産税制度及び資産評価に関する情報のホームページでの提供と地方団体相互間の意見交換等のWEBサイト「レクパスネットー固定資産税会議室」の運用 ウ 固定資産評価に関する意見交換 固定資産税制度や評価センターの事業実施に地方公共団体の意見を反映させるため、全国8ブロック(岩手県、東京都(2回)、三重県、兵庫県、広島県、徳島県、福岡県)で開催
④諸外国の資産課税の現状調査	インディアナ州及びオハイオ州の州政府機関、オハイオ州ダブリン市及びワシントン D.C. 政府租税歳入事務所等に学識経験者を派遣し、資産課税の現状調査を実施。

備考 ①及び②は、一般財団法人日本宝くじ協会助成事業である。

4 評価の均衡化・適正化推進事業

事業名	事業実施概要
路線価等集約事業	<p>ア 路線価等公開情報の集約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度における固定資産税路線価等公開情報を集約（集約率 98.6% : 1,695/1,719 市町村） ・地価公示価格、都道府県地価調査価格、相続税路線価等の各データを独自に電子データ化 <p>イ 「路線価等データ」(DVD-ROM)を全都道府県及び全市町村に配布（7月）</p> <p>DVD-ROM の収録内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度課税分固定資産税路線価等データ ・平成 28 年 1 月 1 日地価公示価格データ ・平成 27 年 7 月 1 日都道府県地価調査価格データ ・平成 27 年相続税路線価等データ ・背景地図データ（146 市区町村分を収録） <p>ウ 「全国地価マップ」による情報公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・固定資産税路線価等、地価公示価格、都道府県地価調査価格及び相続税路線価等の公的土地評価情報を地図上に表示した「全国地価マップ」をウェブ上で公開 ・平成 28 年度のアクセス数は約 221 万人（月平均で約 18 万人）で、その数は年々増加 ・「全国地価マップ」の地図の操作性や画面構成等を改良

備考 一般財団法人全国市町村振興協会助成事業である。

○平成 28 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、事業報告の附属明細書は作成しない。